



こまくさ

令和2年
6月5日(金)
No.9

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしく! たくましく!~

「Jアラート」対応 避難訓練(ミサイル発射時)

今年度6月2日(火)に予定していた小中合同引き渡し訓練がコロナ禍により中止になりました。代わりに6月4日(木)に全国瞬時警報システム(Jアラート)を通じて緊急情報が発信された際の対応として、学校でどのように避難するのかということを実践しました。Jアラートは地震・津波や武力攻撃などの発生時に情報が出されますが、今回はその中でも弾道ミサイルが発射されたことを想定し、その際の学校における避難の仕方について訓練をしました。

基本的には、自然災害や火災の避難と違い、校内に避難をします。そして、放送をよく聞き、落ち着いて行動することが求められます。また、カーテンを閉め、ガラスの破片がなるべく飛んでこないよう、窓などから離れた場所へ移動し、姿勢を低くして頭を守ります。

訓練時には、仙北市総合防災課よりTさん、Iさんから来ていただき、「避難をする時に大切な事」についてお話をいただきました。また、弾道ミサイル発令時の対応についての訓練は学校で珍しいと言うことで、仙北警察署のIさんも見学に来られ、全校の皆さんに「訓練で大切な経験ができた」とお話し下さいました。

なお、仙北市総合防災課より非常食(パン)と水をいただきましたので、一度味わってみて下さい。



訓練後にお話を下さった
Tさん、Iさん

窓から離れ、頭を守る
姿勢をとる3年生

「田植え」体験! 5年生 実りの秋が楽しみ

6月3日(木)5年生が田植え体験をしました。夏を思わせるほどのいい天気の下、子どもたちはJAのTさんから苗の植え方の説明を受けた後、裸足になり田んぼに入りました。はじめは「気持ち悪い」「なんか変な感じ」とおそるおそる歩いていた子どもたちでしたが、すぐに慣れて「稲をください〜」「楽しくなってきた」と手際よくどんどん植えていきました。



慣れてきて上手に
植えているC.Mさん



一列に並んで慎重に
進みました

約1時間ほどで植え終わり、用水路の水を使って泥を洗い流しました。熱かったせいか水の冷たさに大喜びでした。学校に戻り6校時にお礼のお手紙を書きました。そのあと、JA女性部の方々を作って下さったピザをごちそうになりました。秋には稲刈りを行う予定です。収穫した米は、全校カレーの日にみんなでお食する予定です。

お礼の手紙から

今日は田植えの体験させてくれてありがとうございました。田植えをしてみても3本ずつ植えたり、泥に足をズボズボしたりして大変なんだなと思いました。友達がころんで泥だらけになったり、泥がはねて飛んできたりしてとても楽しかったです。初めての田植えで泥に足を入れるのはいやだったけど、やってみたらとても楽しく帰るのがいやでした。次の稲刈りも楽しみです。稲刈りをしたことが無いけど、おじいちゃんがやっているのを見たことがあります。でも上手くできないと思うのでよろしく願います。ケガに気をつけて元気にすごして下さいね。
5年 A.K



お礼のお手紙を書いて
みんなでおしく食べました

JAのみなさんへ
今日は体験させてくれてありがとうございました。今日学んだことは、ぼくの家も農家だけど「88」もやることあることは初めて知って驚きました。農業はやっぱり大変なんだなとも思いました。次の稲刈りは、カマを使うと聞いていたので、しっかり安全に使用したいなと思うので稲刈りが楽しみです。体に気をつけてこれからも元気に過ごして下さい。
5年 T.E

「学校の新しい生活様式」について

文部科学省より学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～が示されました。それによりますと、秋田県は地域の感染レベルが「レベル1」という地域にあたります。（下の表参照）

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m程度(最低1m)	行わない	個人や少人数でのリスクの低い活動で短時間での活動に限定
レベル2	できるだけ2m程度(最低1m)	リスクの低い活動から徐々に実施 ²	リスクの低い活動から徐々に実施 ² し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取る	十分な感染対策を行った上で実施	十分な感染対策を行った上で実施

また、「学校における基本的な新型コロナウイルス感染症対策」と「具体的な活動場面毎の感染症予防対策について」、「感染が広がった場合における対応について」という内容についても細かく記されております。本校としては、この管理マニュアルに沿って様々な対応をしていきます。以下に本校の取組についてお知らせいたします。

本校の対応について

◆児童の持ち物等

- ・清潔なハンカチ、ティッシュ
- ・マスク、マスクを入れる袋等

◆感染源を絶つためにすること

- ・毎日の検温と健康状態の把握
- ・発熱等の症状があれば児童・教職員とも自宅休養
- ・登校後に発熱等の症状が見られた場合は、保護者の方にお迎えをお願いし、別室で待機

◆感染経路を絶つためにすること

- ・手洗いの徹底（外から教室に入る時、咳やくしゃみのあと、給食の前後、掃除の後、トイレの後、共有のものを触った時）
- ・咳エチケットの指導
- ・毎日の消毒（特にドアノブ、手すり、スイッチなど）

◆抵抗力を高めるために指導すること

- ・十分な睡眠の勧め
- ・適度な運動の励行
- ・バランスのとれた食事の指導

◆集団感染リスクへの対応

- ・3密を避ける（できる限り0密を）
- ・「密閉」の回避（換気の徹底）
- ・「密集」の回避（身体的距離の確保）
1mを目安に最大限の間隔を取る
- ・「密接」の場面への対応
基本的に常時マスクの着用
※熱くなってきたので熱中症には気をつける
マスクを外す際はビニール袋へ入れる

◆リスクが高いと考えられる学習活動に対する対策について

- ・一定の距離を保ち、同じ方向を向く
- ・できるだけ教具等の貸し借りはしない
- ・体育の授業時は間隔を十分に確保し、マスクを着用しなくてもよいこととする
- ・水泳については、更衣室を一斉に利用させないようにする
- ・調理実習は可能な限り感染症対策を行い実施する
- ・この他、理科の観察・実験、音楽の合唱、図工等の共同制作、体育の密集・接触を伴う運動などについても、3密を避け、衛生面でも問題がなければ実施する（実施を検討して判断する）
- ・レベル1の地域のままであれば、可能な限り感染症対策を行った上で、実施することを検討していく
- ・以上のことが不可能であれば、実施を見合わせる

◆仙北市内に感染者が確認された場合

- ・それぞれの活動の実施を中止するなどの対応を検討する

◆近隣の市町村で感染者が確認された場合

- ・仙北市教育委員会と相談の上、実施の可否や代替できる内容などについて検討するなどの見直しを行う。

※まだまだ細かい点についてたくさん記されておりますので、文部科学省HPからご覧になって下さい。（下記URL）

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html

★本日、「新しい生活様式」を踏まえたご家庭での取組という資料も配付しました。